

平成 27 年度 事業計画書

1 事業実施方針

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定に基づき産業廃棄物の適正処理を行うとともに、廃棄物の適正処理やリサイクルの推進・普及及び施設周辺の自然環境保全や希少植物の保護事業に取り組むなど、安全で安心な生活環境の保全を促進するため、次の事業を積極的に推進する。

2 廃棄物処理事業（定款第 4 条第 1 号及び第 2 号関係）

実 施 項 目	目 標
適正な処理場運営・管理の推進 ① 廃棄物処理については、関係法令を遵守し適正に処理する。 ② 廃棄物排出業者等から廃棄物受入れ動向の把握を行い、搬入調整を行う等廃棄物の処理需要に即した対応で処理する。 ③ 環境・水質調査の実施による環境影響評価の継続的監視を行う。	受入目標量58,000t (別表「廃棄物処理計画」) 動向等把握の実施 基準超過 0 件

3 廃棄物適正処理及びリサイクル推進・普及事業（定款第 4 条第 3 号及び第 4 号関係）

実 施 項 目	目 標
(1) 廃棄物の適正処理に関する普及啓発 ① 環境イベント等において、廃棄物の適正処理に関する普及啓発を行うとともに、リサイクル事例やリサイクル推進の取組み事例等を紹介するなどの啓発活動を行う。 ② 県内外からの視察者の受け入れや施設公開を行い、廃棄物の適正処理方法、公害防止の取組状況等を紹介し、生活環境保全についての意識啓発を行う。 ③ ホームページにより、産業廃棄物に関する解説や環境測定結果等に関する情報を積極的に公開する。	1 回/年以上実施 8 月 施設公開 2 回/月以上更新
(2) リサイクルの推進・普及 ① 焼却施設から発生する熱源を岩手県設置の余熱利用施設（えさしクリーンパーク）に安定供給すること等により、サーマルリサイクルを推進する。 ② 余熱利用施設での常設パネル展示等により、利用者のサーマルリサイクルについての意識啓発・普及を行う。	熱源安定供給 通年

4 自然環境保全等事業（定款第 4 条第 5 号関係）

実 施 項 目	目 標
(1) 施設周辺自然環境保全 廃棄物処理施設の整備時に移植した樹木を適切に管理するとともに、センター周辺道路等の環境美化活動等を実施し、自然環境の保全を行う。	春秋 2 回実施
(2) 希少植物保護 ビオトープに移植した希少植物の生育状況を確認するとともに、自生する植物の生態系保護活動の一環として観察会を開催し、地元小学生や地域住民と一緒に環境保全の大切さを学ぶ環境学習の場とする。	8 月 観察会開催

5 管理業務等（定款第 4 条第 6 号関係）

実 施 項 目	目 標
(1) 第Ⅱ期最終処分場 C 区画整備工事 平成 26 年度に開始した第Ⅱ期最終処分場の C 区画整備工事について、残工事（フェンスの設置、廃棄物搬入路の舗装）を行い、整備工事を完了する。	C 区画整備工事完了
(2) 浸出水集排水管等補修工事 電気伝導率異常事象発生事案について、原因調査等により特定された箇所（第Ⅱ期処分場 A 区画内浸出水集排水管等）に対して必要な補修工事を行う。	補修工事完了
(3) 焼却業務の休止 焼却業務の年度末休止に向けて、関係者への周知、廃棄物の受入調整、休止に伴う各種事務手続き等を円滑に遂行する。	焼却業務の休止

平成27年度 収支予算書 (損益計算書ベース)

総括

平成27年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額 (補正後の予算※)	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	2	2	0	
② 事業収益				
処理事業収入	1,384,000	1,351,000	33,000	
処理事業収入(建設基金振替)	8,000	8,484	△ 484	
③ 受取補助金等				
受取補助金	234	234	0	
受取補助金等振替額	75,000	74,102	898	
④ 雑収益				
受取利息	1,460	1,461	△ 1	
雑収益	1,700	1,736	△ 36	
経常収益計	1,470,396	1,437,019	33,377	
(2) 経常費用				
① 事業費	(1,302,685)	(1,351,394)	(△ 48,709)	
役員報酬	3,130	3,123	7	
給料手当	16,055	18,258	△ 2,203	
臨時雇賃金	10,446	13,775	△ 3,329	
退職給付費用	2,909	1,218	1,691	
福利厚生費	6,051	6,387	△ 336	
賞与引当金繰入額	1,261	1,216	45	
旅費交通費	1,000	821	179	
通信運搬費	4,360	4,528	△ 168	
減価償却費	601,168	574,231	26,937	
消耗品費	54,730	56,928	△ 2,198	
修繕費	72,560	136,038	△ 63,478	
点検料	62,516	71,409	△ 8,893	
燃料費	59,337	65,209	△ 5,872	
光熱水料費	74,631	76,617	△ 1,986	
賃借料	6,940	6,655	285	
保険料	18,354	18,354	0	
租税公課	22,824	23,255	△ 431	
支払負担金	18,760	18,795	△ 35	
支払利息	22,376	31,642	△ 9,266	
手数料	2,740	2,949	△ 209	
委託費	192,171	171,588	20,583	
貸倒損失	2,000	2,000	0	
貸倒引当金繰入	45,000	45,200	△ 200	
その他 事業費	1,366	1,198	168	
② 管理費	(9,579)	(8,402)	(1,177)	
役員報酬	3,725	3,441	284	
給料手当	1,763	1,501	262	
退職給付費用	283	100	183	
福利厚生費	828	760	68	
賞与引当金繰入額	139	164	△ 25	
旅費交通費	200	160	40	
減価償却費	494	494	0	
光熱水料費	813	685	128	
租税公課	176	206	△ 30	
手数料	950	650	300	
その他 管理費	208	241	△ 33	
経常費用計	1,312,264	1,359,796	△ 47,532	
当期経常増減額	158,132	77,223	80,909	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
貸倒引当金戻入額	45,000	45,210	△ 210	
損害賠償金	10,500	17,499	△ 6,999	
経常外収益計	55,500	62,709	△ 7,209	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	1,000	1,000	0	
電気伝導率対策費用	0	158,606	△ 158,606	
電気伝導率対策引当金繰入	0	57,830	△ 57,830	
経常外費用計	1,000	217,436	△ 216,436	
当期経常外増減額	54,500	△ 154,727	209,227	
税引前当期一般正味財産増減額	212,632	△ 77,504	290,136	
法人税・住民税及び事業税	133,300	92,920	40,380	
当期一般正味財産増減額	79,332	△ 170,424	249,756	
一般正味財産期首残高	2,539,290	2,709,714	△ 170,424	
一般正味財産期末残高	2,618,622	2,539,290	79,332	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	75,000	74,102	898	
当期指定正味財産増減額	△ 75,000	△ 74,102	△ 898	
指定正味財産期首残高	939,421	1,013,523	△ 74,102	
指定正味財産期末残高	864,421	939,421	△ 75,000	
III 正味財産期末残高	3,483,043	3,478,711	4,332	